

児童自立支援専門員

こどもたちの未来を支える
プロフェッショナル



**令和5年度大分県職員採用試験
児童自立支援専門員募集【8/25まで】**



大分県立二豊学園

大分市立竹中中学校
二豊学園分校

詳細は「大分県職員採用ポータル」<https://oita-recruit.com>



令和5年度 採用選考案内

1 選考対象職種、採用予定者数及び職務内容

選考対象職種 児童自立支援専門員

採用予定者数 5名

職務内容 主として、知事部局の福祉保健部二豊学園（児童自立支援施設）において児童の自立支援に係る業務に従事します。

※男子寮又は女子寮担当職員等として、入所児童と起居を共にしながら自立支援業務に従事します。宿直・休日勤務等の変則勤務があります。

大分県職員としての児童自立支援専門員の仕事内容や魅力はココをチェック！！



2 受験資格

次の各号のいずれにも該当する者であること。

- (1) 昭和39年4月2日以降に生まれた者
- (2) 児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例（平成24年大分県条例第61号）第107条に規定する児童自立支援専門員の資格を有する者または令和6年3月31日までに取得見込みの者（ただし、「社会福祉士の資格を有する者」については、令和6年5月31日までに社会福祉士の資格を取得見込みの者を含む。）

- (3) 地方公務員法第16条に該当しない者
- (4) 令和6年4月1日以降の採用に応じられる者

※受験資格がないことが判明した場合は、合格を取り消します。

※上記（2）の児童自立支援専門員の資格を令和6年3月31日（社会福祉士については令和6年5月31日）までに取得できなかった場合には、この選考に合格しても採用される資格を失います。

※日本国籍を有しない者も受験できます。ただし、日本国籍を有しない者は、採用時に職務に従事可能な在留資格がない場合は採用されません。また、日本国籍を有しない者の任用に当たっては、「公権力の行使又は公の意思形成への参画に携わる職には就けない」という公務員の基本原則に沿った任用が行われます。

児童自立支援専門員の資格を有する者（上記（2））

1	医師で精神保健に関する学識経験者	—
2	社会福祉士資格を有する者	—
3	児童自立支援専門員を養成する学校その他の養成施設を卒業した者	—
4	大学又は大学院を卒業した者 (社会福祉学、心理学、教育学若しくは社会学)	児童自立支援事業1年又は実務経験2年以上
5	高校等を卒業した者	児童自立支援事業3年又は実務経験5年以上
6	教員免許を有する者	児童自立支援事業1年又は教員経験2年以上

※実務経験とは以下のものに従事した期間を指します。

イ 児童福祉司となる資格を有する者にあつては、相談援助業務（国、都道府県、指定都市又は児童相談所設置市の内部組織におけるものを含む。）に従事した期間

ロ 社会福祉主事となる資格を有する者にあつては、相談援助業務に従事した期間

ハ 社会福祉施設の職員として勤務した期間（イ又はロに掲げる期間に該当する期間を除く。）

3 選考方法、日時等

第1次選考 令和5年9月17日（日） 教養試験：公務員として必要な一般的知識及び知能についての筆記試験（択一式）

専門試験：専門的知識、技術等の能力についての筆記試験（記述式）

論文試験：児童自立支援事業に関することについての論文による筆記試験

第2次選考 令和5年10月20日（金） 面接（第1次選考の合格者のみ受験）

4 受験申込手続き

令和5年6月2日（金）～8月25日（金）午後5時15分

○申込みはインターネットでのみ受け付けます。

○「大分県職員採用ポータル (<https://oita-recruit.com>)」から、「児童自立支援専門員」にアクセスし、申込み画面上の注意事項を十分確認の上、直接申し込んでください。（ご使用の機種や環境によっては、利用できないことがあります。）



大分県職員採用ポータル

5 採用時期

原則として令和6年4月1日以降ですが、既卒者については、それより前に採用されることもあります。

6 給与

初任給として月額218,400円（4年制大学新卒者の場合）のほか、扶養手当、住居手当、通勤手当、時間外勤務手当、期末手当、勤勉手当等が勤務条件に応じて支給されます。

なお、初任給月額は令和5年4月1日現在のもので、職歴等のある者は、条件に応じて加算されます。例えば、採用時の年齢が32歳で、大学卒業後民間企業等における職務経験年数が10年の場合、月額301,500円程度です。

選考に関すること

【お問い合わせ先】

二豊学園(児童自立支援施設)や児童自立支援専門員の業務内容等に関すること

大分県人事委員会事務局

大分市大手町2丁目3番12号(〒870-0022) 電話 097-506-5222

二豊学園

大分市大字端登5(〒879-7502) 電話 097-596-1144

(児童自立支援施設)大分県立二豊学園

1, 二豊学園(児童自立支援施設)とは

不良行為を行なったか、あるいは子のおおきがある児童、家庭環境等の理由により生活指導が必要な児童を在所させ、自立を支援することを目的とする施設です。寮において子どもの日常生活を支えるとともに分校と連携した学習指導や生活指導を行います。退所後の児童に対しても必要な相談や援助を行います。



2, 二豊学園の『理念』と『支援』

学園生活では、寮生活と分校生活とで他の児童や教職員・寮職員とさまざまな人たちと関わり合いながら生活をし、人間関係や心身の発達、基礎学力などを向上させていきます。

◎ 二豊学園の『理念』 自己選択、自己決定、自己責任

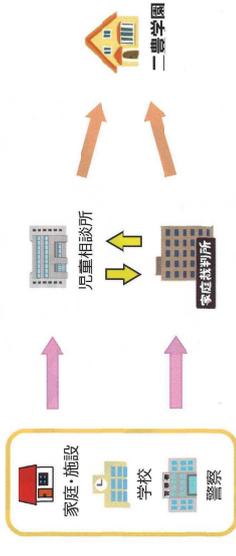
◎ 二豊学園の『支援の3本柱』

- ①生活支援、②寮活動支援、③部活動支援



3, 二豊学園の生活

◎ 入園までの流れ



◎ 学園生活の日程

各寮では規則正しく生活を送り、自立するための基本的な生活習慣や生活スキルを身につけていきます。時間管理やまもりを守ること、自他共に心地のよい生活ができることを学びます。

7:00~	8:30~	9:00~	12:30~	13:25~	15:00~	18:00~	21:00~	22:00
日課(平日)	起床・朝の活動	登校	授業(1, 4限)	昼食	授業(5, 6限)	寮部活動(月水金)	夕食・浴服準備	就寝
	朝食・登校準備	学活	授業(1, 4限)	昼食	寮部活動(月水金)	寮活動	夕食・浴服準備	就寝

7:00~	8:30~	9:00~	12:30~	14:00~	18:00~	21:00~	22:00
日課(休日)	起床・朝の活動	ゆとりの時間	寮部活動(月水金)	寮活動	夕食・浴服準備	就寝	就寝
	朝食	ゆとりの時間	寮部活動(月水金)	寮活動	夕食・浴服準備	就寝	就寝



◎ 二豊学園の主な行事

1年間の主な行事

歓迎レクレーション、寮集会、ふれあい参観、九州少年野球大会、寮キャンプ、ふれあいスポーツ大会、九州少年バドミントン大会、持久走大会、餅つき大会



寮キャンプ



寮集会



餅つき大会

◎ 寮活動

寮活動では、体験的活動を通じて社会生活上の必要なスキルを身につけ、社会適応や集団適応を目指します。

寮活動の一例

農作業(季節の野菜の栽培~収穫)、寮学習、園芸、調理、清掃作業(室内、屋外)、買い物実習、手芸、工作など

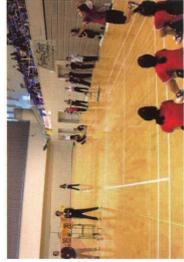


◎ 部活動

男子児童は軟式野球、女子児童はバドミントンを活動の中心とし、チームワークの大切さや、継続する力を養います。また、活動を通じて、礼節・マナー・感謝する心・感謝される自分、などを体験から身につけていきます。



全国少年野球大会



九州少年バドミントン大会

令和5年度大分県職員（児童自立支援専門員）採用選考要領

令和5年6月2日
大分県人事委員会

1 選考対象職種、採用予定者数及び職務内容

職 種	採用予定者数	職 務 内 容
児童自立支援専門員	5名	主として、知事部局の福祉保健部二豊学園（児童自立支援施設）において、児童の自立支援に係る業務に従事します。

※男子寮又は女子寮担当職員等として、入所児童と起居を共にしながら自立支援業務に従事します。
※宿直・休日勤務等の変則勤務があります。

2 受験資格

次の各号のいずれにも該当する者であること。

- 昭和39年4月2日以降に生まれた者
 - 児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例（平成24年大分県条例第61号）第107条に規定する児童自立支援専門員の資格を有する者または令和6年3月31日までに取得見込みの者
ただし、「社会福祉士の資格を有する者」については、令和6年5月31日までに社会福祉士の資格を取得見込みの者を含む。
 - 地方公務員法第16条に該当しない者
 - 令和6年4月1日以降の採用に応じられる者
- ※ 受験資格がないことが判明した場合は、合格を取り消します。
※ 上記（2）の児童自立支援専門員の資格を令和6年3月31日（社会福祉士については令和6年5月31日）までに取得できなかった場合には、この選考に合格しても採用される資格を失います。
※ 日本国籍を有しない者も受験できます。ただし、日本国籍を有しない者は、採用時に職務に従事可能な在留資格がない場合は採用されません。また、日本国籍を有しない者の任用に当たっては、「公権力の行使又は公の意思形成への参画に携わる職には就けない」という公務員の基本原則に沿った任用が行われます。

3 選考方法、日時等

区 分	種 目	選 考 の 内 容	日 時	場 所
第1次選考 （全員受験）	教養試験 （80点）	公務員として必要な一般的知識及び知能についての択一式による筆記試験 （内容は大学卒業程度）	令和5年9月17日（日） 入室開始 午前9時 着席完了 午前9時25分 試験時間	大分県市町村会館 （大分市大手町2-3-12） ※詳細は別途連絡
	専門試験 （80点）	専門的知識、技術等の能力についての記述式による筆記試験 ※出題分野： 社会福祉学概論、心理学概論、 教育学概論及び社会学概論	教養試験 午前9時30分から11時30分まで 専門試験 午後0時40分から2時10分まで	
	論文試験 （80点）	児童自立支援事業に関することについての論文による筆記試験	論文試験 午後2時30分から4時まで	
第2次選考 〔第1次選考の合格者のみ受験〕	面接 （480点）	(1)公務員としての適格性 (2)専門的知識 (3)人物 〕についての個別面接	令和5年10月20日（金） ※時間は別途連絡	大分県市町村会館 （大分市大手町2-3-12） ※詳細は別途連絡

- (注) 1 受験者は、上表に記載する第1次選考の実施日・場所に集合の上、午前9時20分までに会場入口で受付を済ませてください。出入口付近に係員がいますので、指示に従ってください。自動車の乗り入れはできません。
2 教養試験及び専門試験は、試験開始後30分を経過したら入室できません。論文試験は、原則として遅刻を認めません。
3 第1次選考の合格通知（連絡）は、10月10日（火）に行う予定であり、当該合格者についてのみ第2次選考を行うこととします。合格発表は専用サイト内のマイページ内でお伝えします。また、合格者の受験番号は「大分県職員採用ポータル」に掲載します。必ず「大分県職員採用ポータル」にて可否を確認してください。

4 選考結果の情報提供

受験者は、第1次選考及び第2次選考の選考項目別得点、総合得点及び総合順位を合格発表日以降に閲覧することができます（口頭による開示請求に基づく簡易開示は行いません。）

なお、各選考項目にはそれぞれ合格基準があり、その合格基準に達しない場合は「不合格」となります。したがって、総合得点及び順位が上位であっても「不合格」となる場合があります。

区分	閲覧できる者	閲覧できる内容	閲覧方法	閲覧期間	閲覧の方法
第1次選考	第1次選考不合格者 (途中棄権者を除く。)	選考項目別得点、総合得点及び順位	閲覧	合格発表の日から起算して1か月間	各試験の合格発表の日以降に専用サイトのマイページ内でお伝えします。
第2次選考	第2次選考受験者				

5 受験申込手続き

(1) 受付期間	○令和5年6月2日(金)～8月25日(金)午後5時15分 受付期間中に正常に到達したものに限り受け付けます。
(2) インターネットによる申込み 	○申込みはインターネットでのみ受け付けます。 <u>なお、インターネットによる申込みをする前に、(3)のインターネットの申込みの前に準備するデータを、申込みを行うパソコン又はスマートフォンに保存しておいてください。</u> ○「大分県職員採用ポータル」から、「児童自立支援専門員」にアクセスし、申込み画面上の注意事項を十分確認の上、直接申し込んでください。(ご使用の機種や環境によっては、利用できないことがあります。)スマートフォン等をご利用の場合は、左の2次元コードからアクセスすることもできます。 ○申込みを正常に受け付けた際には、「申請受付のお知らせ」を専用サイトのマイページに送信するので、必ず確認してください。返信がない場合は、大分県人事委員会事務局まで連絡をしてください。 ○システムの操作等でご不明な点がありましたら、大分県人事委員会事務局(097-506-5222：受付時間 午前8時30分から午後5時15分まで(土・日・祝日は除く。))にお問い合わせください。
(3) インターネットの申込みの前に準備するデータ	①顔写真データ ・申込前6か月以内に写した上半身脱帽正面向きのもの ・写真の大きさは「縦4：横3」の比率が基本です。 推奨サイズは、「560Pixel×420Pixel」もしくは「600Pixel×450Pixel」です。 ・画像のファイル形式は「JPEG」、「JPG」又は「PNG」で、画像のファイル名は『顔写真(受験者氏名)』としてください。例：顔写真(大分太郎) ②大学等の卒業(見込)証明書の画像データ ・上記「2受験資格」の(2)に該当することが証明できる大学等の卒業(見込)証明書をスキャナーでA4サイズに縮小してスキャンしたPDFデータ。 ・PDFデータのファイル名は、『卒業(見込)証明書(受験者氏名)』としてください。 例：卒業(見込)証明書(大分太郎) ③実務経験証明書のデータ ・勤務先による「実務経験証明書」(様式は「大分県職員採用ポータル」からダウンロードしてください。)のPDFデータ(証明内容について確認することがあるため、必ず証明者の連絡先を記入してもらってください。) ・PDFデータのファイル名は、『実務経験証明書(受験者氏名)』としてください。 例：実務経験証明書(大分太郎) ④免許・資格の写しのデータ ・「インターネットによる申込み」中の「免許・資格名(社会福祉士、教員等)」欄に入力した免許・資格をスキャナーでA4サイズに縮小してスキャンしたPDFデータ。 ・PDFデータのファイル名は、『免許・資格(受験者氏名)』としてください。 例：免許・資格(大分太郎)
(4) 受験票の送付	○9月6日(水)までに、専用サイトのマイページ内に送信するので、 <u>各自で印刷し、通常はがきの大きさ・厚さの紙に貼り付けてください。</u> ※9月7日(木)時点で受験票が届かない場合は、大分県人事委員会事務局にお問い合わせください。

【参考】 児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例

(児童自立支援専門員の資格)

第107条 児童自立支援専門員は、次の各号のいずれかに該当する者でなければならない。

- 一 医師であつて、精神保健に関して学識経験を有する者
- 二 社会福祉士の資格を有する者
- 三 都道府県知事の指定する児童自立支援専門員を養成する学校その他の養成施設を卒業した者(学校教育法の規定による専門職大学の前期課程を修了した者を含む。)
- 四 学校教育法の規定による大学(短期大学を除く。以下この号において同じ。)において、社会福祉学、心理学、教育学若しくは社会学を専修する学科若しくはこれらに相当する課程を修めて卒業した者又は同法の規定による大学の学部で、社会福祉学、心理学、教育学若しくは社会学に関する科目の単位を優秀な成績で修得したことにより、同法第102条第2項の規定により大学院への入学を認められた者であつて、1年以上児童自立支援事業に従事したもの又は前条第1項第4号イからハまでに掲げる期間の合計が2年以上であるもの
- 五 学校教育法の規定による大学院において、社会福祉学、心理学、教育学若しくは社会学を専攻する研究科又はこれらに相当する課程を修めて卒業した者であつて、1年以上児童自立支援事業に従事したもの又は前条第1項第4号イからハまでに掲げる期間の合計が2年以上であるもの
- 六 外国の大学において、社会福祉学、心理学、教育学若しくは社会学を専修する学科又はこれらに相当する課程を修めて卒業した者であつて、1年以上児童自立支援事業に従事したもの又は前条第1項第4号イからハまでに掲げる期間の合計が2年以上であるもの
- 七 学校教育法の規定による高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者、同法第90条第2項の規定により大学への入学を認められた者若しくは通常の課程による12年の学校教育を修了した者(通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。)又は文部科学大臣がこれと同等以上の資格を有すると認定した者であつて、3年以上児童自立支援事業に従事したもの又は前条第1項第4号イからハまでに掲げる期間の合計が5年以上であるもの
- 八 教育職員免許法に規定する小学校、中学校、義務教育学校、高等学校又は中等教育学校の教諭となる資格の免許状を有する者であつて、1年以上児童自立支援事業に従事したもの又は2年以上教員としてその職務に従事したもの

第106条第1項第4号

- イ 児童福祉司となる資格を有する者にあつては、相談援助業務(国、都道府県、指定都市又は児童相談所設置市の内部組織におけるものを含む。)に従事した期間
- ロ 社会福祉主事となる資格を有する者にあつては、相談援助業務に従事した期間
- ハ 社会福祉施設の職員として勤務した期間(イ又はロに掲げる期間に該当する期間を除く。)

(様式)

実務経験（見込）証明書

令和5年 月 日

大分県人事委員会委員長 殿

施設・事業所等名

代表者氏名

下記の者の実務経験は、以下のとおりであることを証明します。

被証明者氏名等	(生年月日： 昭和・平成 年 月 日生)	
被証明者住所	(〒 ー)	
実務経験区分 ※該当するもの☑欄に記入してください。	児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例 <input type="checkbox"/> 児童自立支援事業 <input type="checkbox"/> 相談援助業務（児童福祉司）：同条例第106条第1項第4号イ <input type="checkbox"/> 相談援助業務（社会福祉士）：同第106条第1項第4号ロ <input type="checkbox"/> 社会福祉施設職員：同第106条第1項第4号ハ <input type="checkbox"/> 教員	
施設又は事業所等名		
業務期間	年 月 日 ~ 年 月 日	
業務内容		
証明者の連絡先	(電話番号)	(担当者名)

※人事委員会事務局から証明内容について確認することがあるため、証明者の連絡先は必ず記入してください。